

## 市民活動サポートセンター運営協議会 第13回団体支援部会報告書

〈開催日時〉 2023年7月13日 午後1時30分～午後3時30分

〈開催場所〉 市民活動サポートセンター

〈出席者〉

団体支援部会： 廣田委員、柿崎委員、齊藤委員、田久保

市民協働課： 矢田係長

[配布資料]

1. 第11回団体支援部会報告書
2. 第12回団体支援部会スケジュール
3. 第13回団体支援部会スケジュール表
4. ふなばし市民大学校生体験受入れ事業募集チラシ
5. 講演チラシ（手塚講師）
6. 講演企画書（手塚講師）
7. 組織診断. セミナー資料17の視点
8. 組織診断. 回答用紙と結果サンプル及び分析
9. プロボノ説明会企画書
10. しみんりょく57号原稿 資料. ボランティア体験通年事業（案）

〈議事概要〉

### 1. 前回の部会の内容確認

### 2. ふなばし市民大学校生体験受入れ事業募集について（資料4参照）

①開催日時：令和5年9月21日10時～17時 会場：ふなばし市民大学校校舎

7月31日までを締め切り期限としていたが、書面で送付している団体の回答を含め8月6日まで延長することとした。

②7月13日現在の申込状況⇒7団体

③昨年の受講生、参加団体双方からのアンケート結果、並びに実施状況の検証が必要と思うが如何か→市民大学校に確認する（市民協働課）

### 3. プレゼンテーションのスキルアップ（資料5～8参照）

①チラシは事前告知として公民館、図書館に配布済み。団体にはメール、郵送で周知。8月1号広報ふなばしに掲載時より一般参加の申込受付開始。

②当日に向けた検討課題

・当日の運営について⇒会場はセンター入口の右側（駅前総合窓口側）を正面とし参加者はJR船橋駅（ガラスキューブ側）を背にする椅子の位置。机の配置等は参加者数が確定後に検討する※机を出すことを想定した場合は40名程度が上限か。

・準備品⇒モニター2台、マイク、スピーカー、撮影（原口）、講師アテンド（田久保）

・ワーク内容について自己ワークかグループワークかを講師と再確認

・組織の自己判断シートについては講師から説明をもらい、各団体が持ち帰り実施する。その後、市民協働課がとりまとめ講師へ送付。診断結果は講師から返送。返送方法はメール？

・自己診断の結果、「プロボノ」と「何でも相談窓口」の2つの手段を、団体の課題解決への伴走の手段として提示する

・アンケート内容は従来の講演と比較しやすいよう通常通りの内容とする

・プロボノの説明は事務連絡として行う。

### 4. プロボノ説明会企画書について（資料9参照）

①説明会開催 令和5年10月21日（土）対象：団体及び一般市民

開催時間は13時30分から15時とし、その後30分間で個別相談を行う

②当日は参加者がプロボノ概要説明やふなボノの説明、事例紹介を聞きワーカー登録しようと思ってもらえることを達成目標としたい。※個人はワーカー登録してもらうためにフォロー連絡を取れ

るのが望ましい（同意のもとでふなボノに連絡先を提供してもらうなど）

#### 4. ボランティア体験通年事業の対応について（資料11参照）

以前から夏ボラのアンケートにボランティア体験を通年で実施したい、受け入れたいとの声があり実施する方向で進めており、~~検討することになったので、~~各部会で意見をまとめる。

《メリット》

- ・夏休みのような短期ではなく長期で体験したい人には有効
- ・期間に縛られない
- ・夏ボラの時期に受け入れられない団体には活動に合わせた受け入れが可能になる

《デメリット》

- ・受け入れ期間があったから受け入れやすかった
- ・マッチング実施など実際に考えると実施困難では？

〈次回開催予定〉 令和5年8月10日（木）13:30～

場所：市民活動サポートセンター

部会報告作成担当者

田久保 次回廣田委員